

# Miwa Kyūsetsu XIII Creating Forms in Chanoyu

特別展

十三代三輪休雪



## 茶の湯の造形

2023.10.20 |金| - 12.10 |日|

開館時間：午前9時30分-午後4時30分(入館は午後4時迄) 休館日：木曜日(11月23日は開館)

観覧料：一般1,600(1,300)円 / 高大生1,000(700)円・要学生証 / 中学生以下無料 / 65才以上1,400円・要身分証明

※( )内は10名以上の団体料金 ※障がい者手帳をお持ちの方と付き添い者(1名のみ)半額

※前売り券は、ホームページのオンラインチケット、お近くのコンビニエンスストア(セブンイレブン、ローソン、ファミリーマート)でもお求めいただけます。

MOA美術館：熱海市桃山町26-2 TEL: 0557-84-2511 <https://www.moaart.or.jp>

MOA美術館  
MOA MUSEUM OF ART

特別展

# 十三代三輪休雪 茶の湯の造形

2023.10.20 | 金 | - 12.10 | 日 |

十三代三輪休雪は、山口県萩市に江戸時代初期から続く萩焼窯元の名家に生まれました。青年期にはアメリカに留学して現代アートを学びました。アメリカで大陸ならではの大自然のエネルギーを体感し、帰国後の活動における基盤となりました。十三代が手がける茶碗シリーズ「エル キャピタン」には、大自然のエネルギーが表出しており、伝統の「休雪白」と相まって独自の造形を生んでいます。

本展は、十三代休雪の茶碗を中心に花活、水指などを展示し、日本美術界の第一線で活躍する千住博、杉本博司、室瀬和美の作品並びに南宋時代の墨蹟等を取り合わせます。現代と過去、現代と現代との交錯から生まれる美的展示空間と和敬清寂の世界をご鑑賞ください。

## 十三代三輪休雪

- 1951 山口県萩市に十一代三輪休雪（壽雪）の三男として生まれる
- 1975 米国サンフランシスコ・アート・インスティテュートに留学
- 1981 帰国後、不走庵 三輪窯において作陶に入る
- 1984 現代の陶芸II「いま、大きなやきものに何が見えるか」展（山口県立美術館）にてデビュー作「DEAD END」を発表
- 1988 個展「三輪和彦」（西武渋谷店）
- 1996 「三輪窯 伝統と革新の歩み」展（松坂屋美術館）
- 2007 日本陶磁協会賞受賞
- 2012 国際陶芸アカデミー会員、山口県選奨受賞
- 2019 十三代三輪休雪を襲名する
- 2020 個展「十三代 三輪休雪」（そごう広島、横浜）

## 【友の会のご案内】

当館では「日本の優れた伝統文化を世界の人々に紹介したい」とした創立者の願いにもとづき、美術品の展覧をはじめ、いけばな、茶の湯、芸能、児童作品展など、幅広い文化活動に取り組んでおり、美術館の活動に賛同、支援の輪を広げるため、友の会会員を募集しております。

### ■ 会員の特典

会員はMOA美術館および箱根美術館に無料で入館できます。同伴者の観覧料は、特別割引料金となります。両館共通の無料入館券を1口4枚贈呈します。

### ■ 年会費

個人：1口 10,000円 法人：10口 100,000円～



## 【交通】

JR線をご利用の場合：

JR熱海駅下車→バスターミナル8番乗り場よりMOA美術館行きバスをご利用ください。（所用時間7分）

お車でお越しの場合：

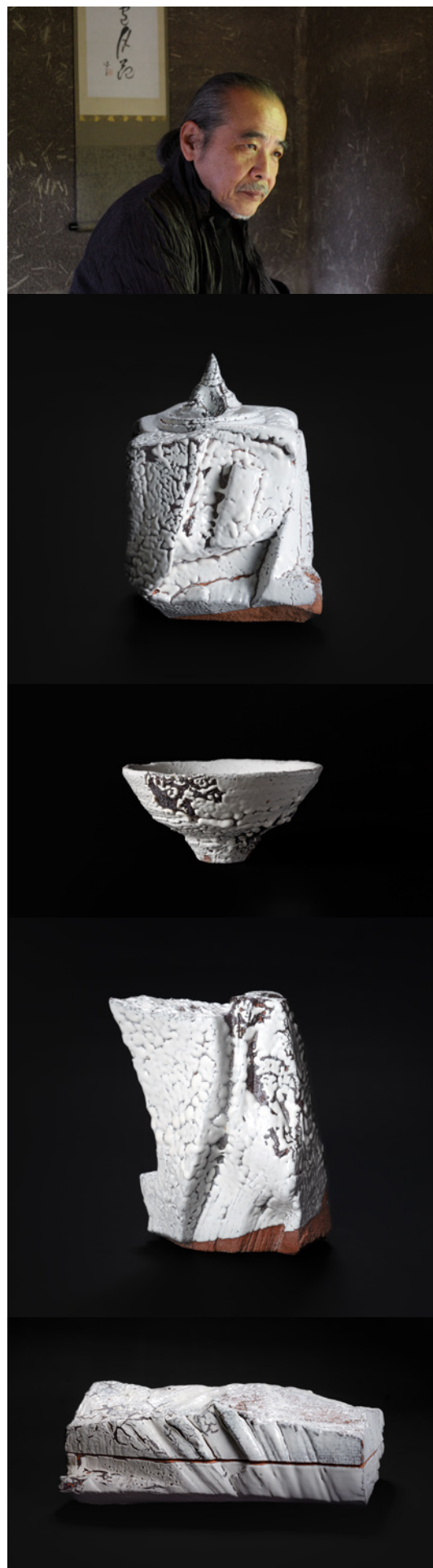
東京方面からは、西湘バイパス、又は小田原厚木道路より真鶴道路を通り、お越しください。

静岡方面からは東名沼津インター、又は新東名長泉沼津インターより

伊豆縦貫自動車道→熱函道路を通り、お越しください。



上から：十三代 三輪休雪 / 雪嶺 2023年 / 寧 銘 弓張月 2022年 / 雪嶺 2022年 / 白き地の詩 2014年  
表面：エル キャピタン 2021年



〒413-8511

静岡県熱海市桃山町26-2

TEL: 0557-84-2511

<https://www.moaart.or.jp>

MOA美術館  
MOA MUSEUM OF ART